

# いのちと地域を守る



【図1】(左)私の部屋はでも狭く、食料・水も確保できない。そのため、非常時は地域のたぐい災害備蓄庫を救えほしい。  
▶山台国際交流員、米国、モリカ、ツサキさん(28)



【参加して】(右)の話し合いを通じて、町内会のほか外国人の災害対策を刺激し、考えていくのを促すことも期待している。通訳を自らもやると取り組みたい。  
▶東北大学大学院学芸科1年 中国、黄凡(27)・ほん(28)



【災害時の不安】(左)家から一番近い避難所の場所が分からず、災害が起きたらどうしようという不安が、地域の人の避難所まで歩いていってほしい。被災したときも助けを求めたい。  
▶山台国際交流員、中国、邢研行(27)



【災害時の不安】(右)被災したとき、町内会がどのような対応をするのか、不安がある。被災されたとき、町内会がどのような対応をするのか、不安がある。被災されたとき、町内会がどのような対応をするのか、不安がある。  
▶東北大学大学院教育情報学教育科1年 韓国、イ・ヒョン(28)



【災害時の不安】(左)被災したとき、町内会がどのような対応をするのか、不安がある。被災されたとき、町内会がどのような対応をするのか、不安がある。被災されたとき、町内会がどのような対応をするのか、不安がある。  
▶東北大学大学院学芸科1年、インドネシア、アリアンティ・エティアン(28)

## ■むすび塾に参加して

山台青葉区三条地区

## 震災直後の三条中 振り返る



## 防災教育や避難支援 必要

千代田町の町内会、外国人入居者が多く、避難生活は困難だった。震災直後の三条中、外国人入居者が多く、避難生活は困難だった。震災直後の三条中、外国人入居者が多く、避難生活は困難だった。震災直後の三条中、外国人入居者が多く、避難生活は困難だった。

## 千代田町内会長 二階堂軍治さん

千代田町の町内会、外国人入居者が多く、避難生活は困難だった。震災直後の三条中、外国人入居者が多く、避難生活は困難だった。震災直後の三条中、外国人入居者が多く、避難生活は困難だった。

■■■町内会と留学生の備えと連携■■■

町内会  
災害に関する言葉はやさしい日本語が有効

避難所開設時には礼拝のためのスペースを設けると宗教上の習慣に配慮する

留学生も避難所運営マニュアルづくりや地域の防災訓練に参加、協力する

留学生  
被災時には通訳として、町内会と日本が話せない外国人の橋渡し役

## 減災・復興支援機構理事長 木村 拓郎さん



## 日頃から交流深めよう

「むすび塾」で地域の民と外国人が交流するのは、震災直後の三条中、外国人入居者が多く、避難生活は困難だった。震災直後の三条中、外国人入居者が多く、避難生活は困難だった。震災直後の三条中、外国人入居者が多く、避難生活は困難だった。

東北大学の教訓を学ぶため、河北新報社地域センター、山台青葉区三条地区、外国人入居者が多く、避難生活は困難だった。震災直後の三条中、外国人入居者が多く、避難生活は困難だった。震災直後の三条中、外国人入居者が多く、避難生活は困難だった。